

平成28年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 大樹町商工会 経営発達支援事業評価委員会
2. 開催日時 平成29年 3月22日(水) 14時00分
3. 開催場所 大樹町経済センター 3階会議室
4. 出席者
 - (1) 外部有識者 大樹町町企画商工課 係長 藤谷 満伸
大樹町観光協会 会長 高橋 英昭
帯広信用金庫大樹支店 支店長 清水 豊
北海道商工会連合会十勝支所長 星 圭司
 - (2) 商工会 会長 三浦 祥嗣
副会長 砂田 正好 副会長 田中 正一
総務企画委員長 堀川 俊明
同 副委員長 菊池 功
同 委員 加藤 康浩
事務局長 廣瀬 庄治
経営指導員 小山田 茂明
5. 欠席者 商工会：総務企画委員 田中 ひとみ

5. 内容

定刻となり、事務局が開会を宣し、三浦委員長が開会挨拶を行った後、議事に入る。

(1) 経営発達支援計画及び伴走型小規模事業者支援推進事業について

事務局は、平成27年12月25日に認定を受けた経営発達支援計画及び認定計画において交付を受けて実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の概要説明を行った。

(2) 平成28年度事業報告について

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明した。

平成28年度において、経営発達支援事業を推進していく為に実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況は別紙「経営発達支援事業」のとおり。

(3) 平成29年度事業計画及び予算について

事務局は別紙資料に基づき、伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して平成29年度の事業の実施を計画している旨の説明を行った。

(4) 事業の評価・見直し結果の内容について

外部有識者からの意見等は下記のとおり。

・平成28年度事業報告及び決算について

(清水委員) 成果は各事業主が検証するのか

(事務局) 経営分析等の結果を踏まえ、各小規模事業者が事業計画を推進していくべきである。

(清水委員) 商工会としての検証は

(事務局) 各種分析結果は、職員間で共有し、小規模事業者の事業計画策定時に資料として活用します。

(清水委員) 成果の実例を出して周知してはどうか

(事務局) そのような方向で進めていきたい。

・評価シート 指針③について

(砂田委員) 経営相談シートとはどのようなものなのか

(事務局) 相談シートの内容について説明を行う。

・評価シート 指針②

(清水委員) タブレット有効活用とはどのようなものなのか、PDCAサイクルにおいて、巡回指導が大事ではないか

(事務局) タブレットの活用については、実績がほとんどなかった。今後においては、巡回時等において有効活用したい。

(高橋委員) PDCAサイクルは1番に実施すべき事項。

その他、事務局は意見等を求めたが特に発言はなく、評価委員会を閉会した。時に15時30分